


















プログラム名	突撃！となりのヒミツの部屋						
対象年齢	年長（5～6歳）						
ねらい メッセージ	さまざまな自然物に親しみ、自然を大切にする気持ちを持つよう						
	発見・体感できること ・石の形・感触・大きさ・色などの違い ・みんなで1つのものを作り上げる喜びや達成感						
参加者のめやす	幼児 6人×5グループ / 支援者 3人						
実施時間	30分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺・公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動		●配慮・アドバイス◎アレンジ				
導入	6人ずつのグループに分かれる		●これからする活動に興味をもてるように話をします。（例）秘密基地の短い話をします。				
5分	①グループで家作りに必要なものを集める（石、流木などの自然物）		●活発な意見が出るよう、子どもたちの発想に共感し、イメージがふくらむようにします。 ●大きいものなどを運ぶ時に危険がないように、支援者が様子を見守りながら援助していきます。				
10分	②家を作る ・石を並べる・積む ・木を立てる ・旗を作る（わが家の目印）		●家作りに十分な時間をとります。 ●「他のグループの作り方も参考にして、工夫をしてみましょう」と声をかけてもよいです。				
5分	③友だちの家に行く道を作る		◎時間が短い場合は、旗作りや道作りは次回の活動にしてもよいでしょう。				
5分	④作った家であそんだり、友だちの家に行ったりしてあそぶ						



時間	活動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
5分	⑤できあがった喜びを分かち合いながら、認め合ったりふりかえったりする	<p>●自然物だけで家作りができる工夫をします。 (例) ・石を木の周りに並べたり、積んだりして木を固定させます。</p>  <p>●作った家をそのままにしておくのか、木や石を元の場所に戻すのか、子どもたちと一緒に考えていくことで、自然への配慮について考えます。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆年少： ・支援者があらかじめシートを敷いたり、囲いを作ったりしておき、その場所に石や木を並べ家を作って、ごっこあそびができます。 ◆年中： ・囲いの中で、石や草花、木などの自然物を使って、ままごとをしたり、見立てあそびをしたりして楽しめます。 ・石や木で線を引くなどして部屋を作ります。(平面あそび) 		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆できあがった自分の家を絵に描いてみましょう。 ◆休日など、家族の人と一緒に川原に出かけてみましょう。 ◆近隣の神社や里山でも自然物を使った家作り(基地作り)ができます。 		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・旗の布または紙(グループ数) ・油性ペン(グループ数) 	

